



みすどかる

住所:須坂市須坂 780
印刷:須坂小学校職員室
発行責任者:竹村信之(校長)

5/12 第1回校長講話より～「^{えがお}笑顔が広がる学校・地域に」～

今年の児童会のテーマは、「どんなときも、えがおひろがる須坂小」です。入学式の日、児童会長の小山君が、校長先生への歓迎のあいさつの中で、「どうしたら笑顔がもっと広がるか教えてください」と宿題をくれました。今年最初の校長講話では、この「えがお」についてお話ししました。

「自分ががんばった」「できた」という笑顔 4月の水泳日本選手権で4つの種目に優勝した池江璃花子選手、18歳の時に白血病という重い病気になりました。苦しい治療に耐え、そこからまた厳しい練習を積んで、ついに復活の優勝を果たしたのです。泳ぎ終わった瞬間は、うれし涙を流していましたが、表彰式の時、この写真のような素晴らしい笑顔を見せてくれました。「自分がすぐつらくてしんどくても努力は必ず報われると思った」と話した池江選手、努力して自分の目標を達成した喜びの笑顔です。みなさんも、「たくさん練習したらできなかった逆上がりができる」とか、「サッカーでシュートを決めた」「難しい算数の問題が解けた」なんていうときはうれしくて笑顔がはじけますよね。こうした、「自分が頑張って目標を達成した!」「できた」という喜びの笑顔、たくさん見せてください。



「友だちと力を合わせて頑張った」「みんなと一緒にだから楽しい」という笑顔

これは去年の6年生が鼓笛の発表をした後の写真です。みんなですべて練習をしてきた演奏をやり終えた後の表情です。「みんなで頑張った」「友達と一緒にできた」というときは、みんなで喜び合うことができ、1人の時よりも何倍もうれしい気持ちになります。こんな笑顔もとてもいいですね。グループの仲間で頑張った、クラスみんなでやり遂げた、委員会のみんなで力を合わせて頑張った、そんなみんなの笑顔がたくさん見られるといいなあと思います。

この写真もみんないい笑顔ですね。「友達といっしょだからうれしい」「みんなでやってたのしい」そういうときの笑顔です。1年生や2年生のみんなも、休み時間にみんなで鬼ごっこをしたりジャングルジムで遊んだりしてとってもいい笑顔をしていますね。



また、須坂小学校は、須坂支援学校と一緒にいる学校です。校舎の中や、前庭や中庭で顔を合わせることもあるし、音楽会や運動会の行事も一緒にやります。支援学校の友だちとも笑顔の輪が広がるといいですね。みんなと一緒に、自然に笑顔になる。そんなクラス、学校に是非していきましょう。

ところで、笑顔の反対はどんな顔でしょう？泣いている顔・困っている顔、「悲しい」「つまらない」「くるしい」という気持ちですよね。友だちからからかわれたり、悪口を言われたとき、仲間外れにされたり、無視されたとき、たたかれたり、蹴とばされたりなんてことをされたら、本当に悲しいですね。みんなの中で、お友だちの中で、こんな悲しい思いをしている人はいませんか？友だちが、悲しい顔になるようなことは自分は絶対にしない、という気持ちをもってください。クラスの



中で、そんなことがないように、みんなで力を合わせていってください。

この間、ブランコで遊ぶ様子を見ていたときのこと。乗りたくて来た人が、ブランコに乗っている人に、「かわって」と言ったら、「いいよ」といって、交代してくれました。かわってもらった人は「ありがとう」とうれしそうに言っていました。相手を思って、ゆずり合える。それに対して、すなおにありがとうと言える。互いに気持ちよく、笑顔になれますね。当たり前のことかもしれないけれど、とてもうれしく思いました。

「周りの人のためになる」「相手が喜んでくれてうれしい」というお互いの笑顔



3つ目、次の笑顔を見てください。車椅子のおばあさんも、隣にいるお姉さんも笑顔ですね。相手が喜んでくれると自分もうれしくて笑顔になります。

こちらの、台風の被害にあった地域でボランティア活動をしている人たちもみんないい笑顔ですね。誰かのためになる、そんなときの笑顔です。まわりの人のためになることをする、そして、相手が喜んで笑顔になると、自分も笑顔になりますね。児童会のあいさつ活動、図書館の当番活動、クラスの当番や係の仕事など、役割を果たすことでみんなが気持ちよくすごせます。家でのお手伝いも家族が喜んでくれますね。困っている人がいたら、そっと手を差しのべる。みんなが行動することで、お互いに笑顔になれることはたくさんあります。

まわりの人が笑顔になり、自分も笑顔になる、そんなあたたかな教室、学校、地域になるといいですね。

常盤中と支援学校中学部の対面式がありました



5月6日（月）に、支援学校中学部と常盤中学校の対面式を行いました。感染症対策のため、中学部の代表4人で常盤中を訪問し、全校のみなさんが集まった体育館で、ビデオで中学部の紹介をしました。短時間でしたが、支援学校の様子的一端をわかってもらえたと思います。常盤中学校からも、片桐校長先生から「お互いを思いやり、共に充実した学校生活にしていきましょう。」生徒会長から「今年も常盤祭などで交流を深めましょう」とメッセージをいただきました。

～常盤中学校生徒の感想から～

須坂支援学校の人達の自己紹介を見ました。須坂小から来たので、同じ学年に支援を受けている人がいたので、中学部になった姿を見られて良かったです。

須坂支援学校中学部の皆さんと交流をしました。保育園が同じだったOさんがいました。私は、「元気にしてるかな？また仲良くなりたいな！」などと思いました！支援学校のみんなと仲良くなれるといいです！！

コロナ禍にあり、交流活動に制限はありますが、できる形での交流を通して支援学校の生徒・常盤中学校の生徒双方の「心の花」を美しく咲かせていけたらうれしいです。